

第5学年社会科学学習指導案

日 時 平成17年10月12日(水) 授業1
学 級 5年1組 男19名 女16名 計35名
場 所 5年1組教室
授業者 教諭 佐藤 正寿

1 単元名 「1 自動車工場をたずねて」(教育出版上)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領第5学年2内容(1)ア「様々な工業製品が国民生活を支えていること」ウ「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き」に基づいて構成している。

我が国の工業は国民生活を支える重要な産業である。本単元はその工業について日本の代表的な例である自動車産業を学習するものである。自動車産業は日本の経済の中心産業の一つであり、国内生産だけではなく海外への輸出も盛んである。また、自動車を使うことも日常化しており国民生活との関わりも深い。その点では工業生産の学習では最適の対象と言える。具体的には、生産を高めるための工夫や努力、消費者の願いに応えた生産等を学習内容とし、最終的には自動車産業が自分たちの生活と関連している点に気付かせることがねらいである。

(2) 児童観

児童は1学期に農業や水産業について学習をしてきている。その学習で、働いている人々に関心を持ち、人々の工夫・苦労や喜びといった視点をもつことができるようになった。資料活用技能では、写真・表・グラフの基本的な読み取りができるようになった。児童の社会に対する興味は高く、8割近くの子が「社会科の学習がとても好き」「社会科の学習がどちらかといえば好き」というアンケート結果が出ている。

ただし、事前テストの結果によると、工業についての知識が非常に少ない。これは実際に工業生産の工場を見学する機会がないためと思われる。また、資料の深い読み取り技能も十分には身に付いておらず、工業についての社会的なものの見方・考え方についてもほとんどの児童が表層的である。これらの実態に即した指導が必要である。

(3) 指導観

指導にあたって特に重視する点は次の5つである。

①基礎的な用語、基礎的な学習技能を重視する。

児童と工業との関わりは薄い。しかも、この学習内容の資料(グラフ、写真)ではある程度の学習技能が必要である。そこで、国語辞典等で内容に関わる用語を調べさせたり、「グラフの見方」といった学び方を重視した指導をしたりしていく。

②児童の問いを大切にす。

自ら学ぶ力を育てるためには、主体的な問題解決的な学習が不可欠である。単元の導入段階や発展的な学習の最初で児童に問いを出させ、それをもとに学習の構成を考えていく。

③働く人の視点から考えるようにする。

工業に従事している人に具体的に迫ることが、児童の理解を促進すると思われる。教科書に出ている事例だけではなく、ビデオ教材等を活用しながら働いている人の例に迫っていく。

④「社会的なものの見方・考え方」を発問や第2課題で深める。

学習内容の理解だけではなく、「今後自動車作りのために大切なことは何か」といった思考を必要とする発問や第2課題等により、社会的なものの見方や考え方を深めるようにする。

⑤「深める」内容の発展的な学習を行う。

発展的な学習には「広げる内容」と「深める内容」がある。この単元では「未来の自動車作り」を深めるようにする。具体的には「環境にやさしい車」や「安全な車」等を扱い、見方や考え方を深める。

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
社会的事象への関心・意欲・態度	○日本の自動車産業や自動車工場の仕事に関心をもち、意欲的に調べようとする。	・自動車産業が盛んな理由や自動車工場の仕事の工夫や苦勞に関心をもち、意欲的に課題を調べようとしている。
社会的な思考・判断	○自動車産業に携わる人々の生産を高める工夫・努力や、自動車産業と人々の生活との関わりについて考えることができる。	・自動車の生産を高めるための効率化の工夫や安全性への努力、自動車産業と国民生活の深い結びつきについて考えている。
観察・資料活用の技能・表現	○自動車工場に関する写真や地図、統計などの資料を目的に合わせて収集・選択し、的確に読み取ることができる。	・写真や地図、統計などの資料を図書館やインターネットから目的に合わせて収集・選択し、自分なりの解釈をもって読み取っている。
社会的事象についての知識・理解	○自動車工場の様子を調べ、その現状と課題について理解することができる。	・自動車工場で働く人々の工夫や努力、今後の自動車産業の課題について理解している。

4 単元の指導・評価計画（15時間扱い）

段階	時間	目 標	主な学習活動 ○・・・学習課題 ☆・・・主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)	具体的評価規準		努力を要すると判断された児童への手立て
					A：十分満足できる判断する視点	B：概ね満足できると判断する視点	
とらえる	1	資料の話し合いを通して、自動車作りについて興味や関心を持ち、調べてみようとする。	○自動車作りについて課題を作ろう。 ・自動車作りで知っていることを発表する。 ・課題を作り、発表する。 ☆経験や資料から気付きを深める。	自動車づくりに関心をもち、調べようとしている。 【関・意・態】 (発表・ノート)	自動車づくりに関心をもち、自動車工場や働く人々について、視点をもって調べるようとしている。	自動車づくりに関心をもち、自動車工場や働く人々について、調べようとしている。	友達の発表から、調べてみようとする意欲をもたせる。
ふかめる	2	自動車工場の配置の工夫や、そこに工場が作られたわけを読み取ることができる。	○なぜ自動車工場が荻田町に作られたのか。 ・工場の様子を図から読み取る。 ・荻田町にできた理由を考える。 ☆写真や図を見る視点を教える。	写真や図などをもとに、荻田町に工場ができた理由を読み取っている。 【技能・表現】 (発表・ノート)	工場の全景写真と配置図を比べながら、立地条件や配置の特徴を読み取っている。	工場の全景写真と配置図から、立地条件や配置の特徴を読み取っている。	写真と配置図のそれぞれからわかることを具体的にあげさせる。
	3	自動車工場について、自動車ができるまでの様子や働く人たちの様子を意欲的に調べようとする。	○自動車ができるまでの様子を調べよう。 ・インターネットで調べる。 ・気付いたことをノートに書き、発表する。 ☆視点を確認してから調べさせる。	自動車工場の様子や働いている人の様子について意欲的に調べようとしている。 【関・意・態】 (発表・ノート)	自動車ができるまでの様子や、工場で働く人たちの工夫や努力について、自ら問いをもって意欲的に調べようとしている。	自動車ができるまでの様子や、工場で働く人たちの工夫や努力について、意欲的に調べようとしている。	自動車づくりの様子をインターネットを使って視覚的に提示する。

ふかめる	4	自動車工場では、自動車を早く、正確に、安全に作る工夫をしていることを理解できる。	○自動車づくりの工夫は何だろうか。 ・インターネットで調べ、気づいたことをノートに書き、発表する。 ☆視点を確認してから調べさせる。	自動車を早く、正確に、安全に作る工夫をしていることを理解している。 【知識・理解】 (発表・ノート)	自動車の作りに携わる人たちが、自動車を早く正確に安全に作る工夫や努力をしていることを、具体例を挙げて説明している。	自動車を早く、正確に、安全に作るための工夫や、働く人たちの努力を理解している。	組み立てラインでの作業の様子や、働く人の話から理解させる。
	5	自動車工場では、働く人の環境を整え、地域の環境も守りながら生産していることに気付くことができる。	○働く人や地域の環境のために、どのような工夫がされているのか。 ・文書資料の読み取りをする。 ・工夫やよさを考える。 ☆環境の視点を与える。	自動車工場での働く人の環境や地域の環境について考えている。 【思考・判断】 (発表・ノート)	自動車工場の働く人の環境や地域の環境について、多面的に考えている。	自動車工場の働く人の環境や地域の環境について、考えている。	働いている人の話をもとに、環境の工夫を考えさせる。
	6	シート工場について調べ、生産や出荷の様子から自動車工場との結びつきを考察することができる。	○シートはどこで、どのように作られているのだろうか。 ・写真や図から読み取る。 ・自動車工場との関係を考察する。 ☆読み取る視点を与える。	生産や出荷の様子から自動車工場との結びつきに気付いている。 【思考・判断】 (発表・ノート)	シート工場と自動車工場が深く結びつき、生産の影響を受けやすいことを考えている。	シート工場と自動車工場が深く結びついていることを考えている。	教科書の資料や友達の発表から、その関係を考えさせる。
	7	関連工場働く人々の努力や工夫と関連工場の働きについて理解することができる。	○自動車工場と関連工場の結びつきはどのようなになっているのか。 ・文書資料を読み取る。 ・図から関係を考察する。 ☆図を読み取る視点を与える。	自動車工場と関連工場の関係について理解している。 【知識・理解】 (発表・ノート)	自動車は、自動車工場と関連工場とが協力し合い、計画的に生産をしていることを理解している。	自動車を作るための、自動車工場と関連工場のそれぞれの役割や関係について理解している。	教科書の資料や友達の発表から、その関係を考えさせる。
	8	自動車の輸送方法について興味をもち、新車を船に積み込む仕事について調べることができる。	○たくさんの自動車をどのようにして船に積み込むのだろうか。 ・写真と文書資料から読み取る。 ☆読み取る視点を与える	新車を船に積み込む仕事について調べている。 【技能・表現】 (発表・ノート)	写真と働く人の話を関連づけて、自動車を船で運ぶ仕事の様子について調べている。	自動車を船で運ぶ仕事の様子について調べている。	写真から読み取れることを考えさせる。
	9	自動車を輸送する人たちの仕事の様子を調べ、工夫や努力、思いについて理解することができる。	○自動車を運ぶ人たちはどのような工夫や努力をしているのだろうか。 ・写真と文書資料から読み取る。 ☆働く人の話に着目させる。	自動車を輸送する人たちの工夫や努力、思いについて理解している。 【知識・理解】 (発表・ノート)	自動車の輸送は車を傷つけずに予定どおり運ぼうとする人たちの工夫や努力、思いに支えられていることを理解している。	自動車の輸送に携わる人たちは、車を傷つけずに、予定どおりに運ぶ工夫や努力をしていることを理解している。	働く人の話から思いを考えさせる。

	10	全国に広がる交通網について調べ、その役割を考えることができる。	○交通網はどのようなになっているのだろうか。 ・地図を読み取る。 ☆輸送手段について経験から考えさせる。	交通網の役割と輸送手段の違いや利点を考えている 【思考・判断】 (発表・ノート)	運輸の仕事の果たす交通網の役割や、自動車・船・鉄道・航空機による輸送のしかたの違いや利点を考えている。	運輸の仕事に利用される高速道路の役割や、自動車と船による輸送の違いや利点を考えている。	旅行の経験もあわせて、その輸送機関を利用した理由を考えさせる。
まとめ	11～12	自動車に乗る人たちの願いについて調べ、「安全で人や環境にやさしい」自動車作りが進められていることを理解できる。	○自動車づくりへの願いは何か。どのような工夫や努力が行われているのか。 ・願いを発表する。 ・自動車づくりの工夫や努力を調べる。 ☆グループごとに活動をさせる。	「安全で人や環境にやさしい」自動車作りが進められていることを理解している。 【知識・理解】 (発表・ノート)	これからの自動車作りは、人や自然との共生を考えながら進めていく必要があることを、理由をもとに理解している。	これからの自動車作りは、人や自然との共生を考えながら進めていく必要があることを理解している。	自動車のパンフレットのキーワードをもとに考えさせる。
ひろげ	13～14	「未来の自動車」について、グループごとにテーマを調べまとめることができる。	○「未来の自動車」はどのようなものがあるのか。 ・グループ別に調べる。 ・画用紙にまとめる。 ☆必要な資料を選ばせる。	「未来の自動車」について調べ、その特徴をまとめている。 【技能・表現】 (画用紙)	「安全・人・環境」の視点で調べ、その特徴を自分たちの主張を入れて画用紙にまとめている。	「安全・人・環境」の視点で調べ、その特徴を画用紙にまとめている。	読み取りの観点を示しながら、わかることを中心にまとめさせる。
チャ	15 本時	「未来の自動車」について調べたことを発表し、今後の自動車作りで大切なことについて考えることができる。	○「未来の自動車」について、調べたことを発表しよう。 ・グループごとに発表する。 ・大切なことを考える。 ☆工夫した発問を提示する。	未来の自動車について大切なことを考えている。 【思考・判断】 (ノート)	未来の自動車にとって大切なことについて、いくつかの視点を比べてノートに書いている。	未来の自動車にとって大切なことについて、視点をもとにノートに書いている。	友達の考えを手がかりに大切な点をノートに書くように支援していく。

※チャ・・・チャレンジ学習

5 本時の指導（15 / 15）【チャレンジ学習】

(1) 目 標

「未来の自動車」について調べたことを発表し、今後の自動車作りで大切な視点について考えることができる。

(2) 基礎・基本とのかかわり

本時で応用・発展させたい基礎・基本は主として二つある。一つは「資料から調べたことを目的に応じて表現すること」である。子どもたちは本時の発表のために、学習参考書やインターネット等の資料から発表シートを作成した。「これからの自動車の特徴」をわかりやすく表現するために短いキーワードにまとめている。そのねらいに沿った表現を認めていくようにしたい。もう一つは「社会的事象について考えること」ことである。「安全」「人」「環境」といった未来の自動車に必要な条件について社会的なものの見方や考え方を深めさせるようにしたい。

(3) 本時の指導にあたって

本時で重要なことは、今後の自動車作りで大切な視点について話し合いを通して深めるということである。そのために、児童が調べた内容について、価値観を問う第2課題で深めるという手立てをとっている。具体的には次のように指導をする。

- ・最初に「未来の自動車」について調べたことを子どもたちが発表する。これは子どもたちの調べ活動の表現の場であると共に、違うグループの子どもたちにとっては基本的な情報の理解の場でもある。
- ・発表後に各グループの主張をキーワードでまとめる。この時になぜそれらの視点が必要なのか考えさせたい。
- ・子どもたちの理解が深められた時点で、第2課題「未来の自動車にとって大切なことは何か」を提示する。「社会的なものの見方や考え方を深める」ためには、このような価値観を考える活動が必要と思われる。

(4) 展 開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
と ら え る 3 分	1 本時の課題について確認をする。 「未来の自動車」について調べたことを発表し、これからの自動車作りについて考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の視点と学習の進め方について確認をする。 ・「これからの車はどのようなものか」という疑問から本時の内容が出ていることに触れる。 	
ふ か め る 3 8 分	2 調べたことについて発表をする。 (1) 安全グループ ・丈夫で事故に対応できる車 (2) 人グループ ・ハンディをもった人にやさしい車 (3) 環境グループ ・温暖化を防ぐ車, リサイクルできる車	<ul style="list-style-type: none"> ・代表グループが発表をする。 ・書いた資料を見やすくするためにプロジェクターを活用する。 ・代表グループが発表した後、同じグループの中で付け加えをする。 ・他グループから質問をとったり、「初めて知ったこと」を中心に感想を聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン ・プロジェクター

	<p>3 発表の主張点をキーワードでまとめる。</p> <p>【キーワード例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全第一 ・人と地球にやさしい車 <p>4 第2課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> これからの自動車にとって大切なことは何か。 </div> <p>(1) 話し合いをする。</p> <p>(2) ノートにまとめる。</p> <p>【評価規準Bの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> これからの自動車にとって大切なのは、「安全」「人」「環境」という視点で自動車作りをすることである。 </div> <p>(評価規準Aは他の視点との比較を加えたもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表をキーワードでまとめる。 ・子どもたちの発表した内容のもとになる考えを引き出しながら、まとめていきたい。 ・自分たちが調べた内容だけではなく、他のグループで考えたことや新たな考えを出すようにする。 ・「これらの考えで作ると、費用がかかるし性能も落ちる。それでも必要なのか」というゆさぶりをかけ、考えを深めるようにする。 ・友達の発言から学んだことを相互評価させ、学び合うよさを感じ取らせたい。 										
		<p>【評価規準】(思考・判断)</p> <p>未来の自動車について大切なことを考えている。</p> <p>(ノート・発表)</p>										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">具体的評価規準</th> <th style="text-align: center;">努力を要する」と判断</th> </tr> <tr> <th style="width: 33%;">A</th> <th style="width: 33%;">B</th> <th style="width: 33%;">された児童への手立て</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 未来の自動車にとって大切なことについて、いくつかの視点を比べてノートに書いていく。 </td> <td style="vertical-align: top;"> 未来の自動車にとって大切なことについて、視点をもとにノートに書いていく。 </td> <td style="vertical-align: top;"> 友達の考えを手がかりに大切な点をノートに書くように支援していく。 </td> </tr> </tbody> </table>		具体的評価規準		努力を要する」と判断	A	B	された児童への手立て	未来の自動車にとって大切なことについて、いくつかの視点を比べてノートに書いていく。	未来の自動車にとって大切なことについて、視点をもとにノートに書いていく。	友達の考えを手がかりに大切な点をノートに書くように支援していく。
具体的評価規準		努力を要する」と判断										
A	B	された児童への手立て										
未来の自動車にとって大切なことについて、いくつかの視点を比べてノートに書いていく。	未来の自動車にとって大切なことについて、視点をもとにノートに書いていく。	友達の考えを手がかりに大切な点をノートに書くように支援していく。										
まとめる 4分	<p>5 今日の学習について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする ・感想を発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに沿った観点で自己評価させる。 ・単に感想発表させるだけではなく、学びの自覚を促したい。 										

(5) 板書計画

未来の自動車作り		
未来の自動車について調べたことを発表しよう	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 子どもたちの発表資料 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な車 	これからの自動車にとって大切なことは何か
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 子どもたちの発表資料 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・人にやさしい車 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 子どもたちの発表資料 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい車 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・人・環境 ・費用がかかっても大切 ・地球や人類のことを考えること